From Library

6 月号　　日立北高等学校　図書委員会発行　担当　3の3　阿部　小林央　　3の4　漆野　豊田

図書委員のおすすめの本！

「生物と無生物のあいだ」　福岡伸一

生物選択者必見！

新書なのに物語のような文章なので読み易く、分かりやすい。

生物がもっとおもしろくなる、そんな一冊です。

「容疑者xの献身」　　東野圭吾

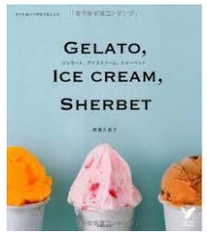
探偵ガリレオシリーズの第 3 作目。天才数学者でありながら不遇な日々を送っていた高校教師の石神は、一人娘と暮らす隣人の靖子に密かな思いを寄せていた。 彼女達が前夫を殺害したことを知った彼は、二人を救うために完全犯罪を企てる。

だが皮肉にも、石神のかつての親友である物理学者の湯川がその謎に挑むことになる。

「ネバーギブアップ　スヌーピー」

チャールズ・M シューツ

誰もが知っているスヌーピーが冒険をする物語です。様々なことに挑戦するスヌーピーと彼の友達からきっと勇気をもらえる一冊になっています。また、日本語の隣に英語も書いてあるので密かに英語の勉強ができます。



「GELATO,ICE CREAM, SHERBET」

柳瀬久美子

熱くてやる気が出ない時に食べたいものと言えば、やはり、甘くて冷たいものですよね。この本では、簡単に作れるアイスクリームなどのレシピを紹介します。

澤畠先生にインタびゅ～～！

Q1　澤畠先生のお気に入りの本を教えてください。

（1）寺田寅彦随筆集（全五巻）　（2）フラクタル物理（Ⅰ）（Ⅱ）
（3）だれが原子をみたか　（4）ブラウン運動

Q2　その本を選んだ理由は何ですか。

（1）は誰もが見ているけど、化学的には見過ごしているような日常の現象に物理学者としいて鋭い分析の目を注ぎ、それを一般の人でも分かるように随筆に書き上げるものです。ちなみに寺田寅彦は夏目漱石の弟子の一人であり、坊ちゃんのなかの水島寒月は、彼がモデルです。

（2）は自然を見つめる新しい視点の“フラクタル”について説明されている本です。松下先生の著書はどれも分かり易いと定評がありとてもお勧めです。

（3）（4）は目に見えない原子がどのように元素の正体として確立されていったのかの歴史について説明されています。化学の授業では時間がなくて“原子ありき”で進んでいきますが、背景に長い年月にわたる論争があったというお話です。

Q3　日立北の生徒に一言お願いします。

ほとんどの方が本についていろいろ書かれているようなので、私は図書館について思い浮かんだことをつらつら書いてみようと思います。

小学生のとき、清掃の当番で訪れた図書室で「ほうき星」という本の表紙に釘付けになった。尾っぽを引くこのヘンテコな星についてその周回軌道（物理）、組成（化学）地球環境や生物の絶滅との関係（地学、生物）などいろいろ調べていくうちに、わからないことだらけだったが何となく自然科学について興味・関心を持つようになり、今に至っている。図書館にはそのように人の進路を左右するような刺激がじっと息をひそめて待っている。

高校生の時の印象に残っている授業中の雑談の一つに、社会科のＴ先生の「大学はキャンパスの中心に図書館がある。図書館が学問の中心＝センターなんだ」というのがある。どうしてそんな話題になったのかは覚えていないのだが、私が通った小学校、中学校の図書館は校舎の端っこにあったので、その時「ふぅ～ん」と妙に感心したことを覚えている。そして大学に入学して図書館の位置を確認したところ、なるほど図書館を囲むようにいろいろな学部の棟が配置されていた。Ｔ先生の話は正しかった。その後いろいろな大学を訪れたが、図書館がキャンパスのどの辺りにあるかということと、その大学の学問への取り組みの深さには相関があるような気がする。

大学院に進み、受講生がたった２人しかいない退官間際のＫ教授の授業で知り合った物理学科の院生と意気投合し、”ソリトン”についての自主的なゼミをやることにした。場所は図書館の個室をよく利用した。今思い出してみても何故そのようなことになったのか全く思い出せない。しかしその院生が”数式の群れ”から”物理の本質”を粘り強く抽出する姿勢には感嘆の念を覚えた。と同時に自分の限界も潔く受け入れることができた。

本校の図書館は蔵書もとても多く、大学生が読むような専門書も少なくない。授業の準備などによく使わせて貰っているが、静かで居心地が良く、つい長居してしまう。皆さんはそのようなとても充実した図書館を持つ高校で学ぶことができるのをとても羨ましく思う。

新しい本の紹介

「絶景の世界遺産１００」
「新しい道徳」　北野武
「ユートピア」　湊かなえ
「ジョコビッチの生まれ変わる食事」　ノバク・ジョコビッチ
「ラオスにいったい何があるというんですか？」　村上春樹
「GOSICK　PINK」桜庭一樹
「どきどき僕の人生」　キム・エラン
「困難な成熟」　内田樹
「数の悪魔」　エンツェンスベルガー
「しっかり！まとまった！文章を書く」　前田安正
「早稲田出てもバカはバカ」　円山嚆矢
「『英語を話せる人』と『挫折する人』の習慣」　西　真理子
「アーサーの言の葉食堂」 アーサー・ビナード
「下町ロケット２　ガウディ計画」　池井戸潤
「クレーの絵本」　谷川俊太郎
「武道館」　朝井リョウ
「大方言」　百田尚樹
「中高生のための『かたづけ』の本」　杉田明子・佐藤剛史
「幻の楽器ヴィオラ・アルタ物語」　平野真

♪お知らせ♪

１年生には新しいバーコードを配布しました。たくさん本を借りに来てください。　　<u>本の貸し出し　１回３冊まで　２週間</u>